

採点基準 英語

*この採点基準では、部分点・別解の判断を要する問題のみ取り上げています。ここに取り上げられていない問題には部分点は生じず、配点分の得点を与えるか、0点となります。

◆採点上の原則

*各問の基準として別記がない場合は、次に従うものとする。

- ①原則として減点方式により採点する。減点が配点を上回った時点で採点を終えてよいものとする。なお、減点箇所には、波線や山カッコなどを入れる。
- ②制限字数を超えている（解答欄をはみ出している）ものは適宜減点。（句読点は含まず）
- ③誤字・脱字は、1つにつきマイナス1点。但し、旧字の送り仮名や「ら」抜きなど、意味の取り違えが生じない場合は減点しない。また、指示がない場合、句読点の有無に関する誤りは、不問とする。
- ④解答例と差異があっても、内容が大きく捉えられているものには点数を与える。
同じ単語や漢字の間違いは1回のみ減点。

4 長文空所補充問題 (配点 30点)

3点×10=30点

【設問】次の英文を読んで、空所 (A) ~ (H) に入る最も適切な動詞を下の語群から選び、必要ならば正しい形に直して1語で解答欄に記入せよ。1つの単語を複数回使ってはならない。

【解答】 A stretch B equipped C function D regarded E remains
F comes G depends H make I contains J leading

【基準・配点】

- 選択すべき単語の間違いは0点。
- スペリングの間違いは1カ所につきマイナス1点。
- 語形変化の間違いはマイナス1点。

(A) stretching, stretched, stretches はマイナス1点。(B) equip, equipping, equips, equipped はマイナス1点。
(C) functions, functioned, functioning はマイナス1点。(D) regard, regarding, regards はマイナス1点。(E) remain, remained, remaining はマイナス1点。(F) come, coming, came はマイナス1点。(G) depend, depended, depending はマイナス1点。(H) makes, made, making はマイナス1点。(I) contain, contained, containing はマイナス1点。(J) lead, lead, led はマイナス1点。

3 長文記述問題 (配点 60点)

問1 12点

【設問】 下線部(1)を和訳せよ。

【解答】 ネアンデルタール人と比べて、現生人類において変化したものの中で、重要だったものを私は知りたいのです。

別解 私が知りたいのは、ネアンデルタール人と比べて、現生人類において変化したもののうち、影響をもたらしたものが何だったのか、ということなのです。

【基準・配点】

- カタカナ・ブランク・英語の抜き出しはマイナス1点。
- 虫食い答案は採点するが、明らかな立消え答案(「ネアンデルタール人」, など)は部分得点0点。
- 以下に言及のない(誤字などの)ミスは、1つにつき原則マイナス1点。

部分	点数	-0点 (許容)	-1点	-2点
① ネアンデルタール人と比べて、	2		ネアンデルタール人と現代の人間を比較して	
② 現生人類において変化したものの中で、	5	現生人類において変化したもののうち、/現代の人間において何が違って、そのうちで/	近代の/現代的な/モダンな/「~の中で、~のうち」という意味を表せていないもの。例えば、「現代人の~差異を生み出した変化」「現代人に違いを生んだのは何の変化なのか」など“what changed in~”を「変化」という名詞として扱い、that節による修飾としたものは、内容として間違っていると言えないので、マイナス1点とする。	「現代の人間にはどんな重大な変化が起こったのか」「現代の人間において何が違って相違をもたらしたのか」など、関係詞節の内容を適当につないだもの、もしくはそれを表現できていないもの
③ 重要だったものを	3	影響をもたらしたものが何だったのか/違いを生んだものを/意味があったもの		関係詞節ということを理解し損ねたもの/「違いを作った近代の人間」など、先行詞を取り違えたもの
④ 私は知りたいのです	2	私が知りたいのは、	知りたかった	

問2 10点

【設問】 下線部(2)に示された“a big problem”の具体的内容を、45字程度の日本語で説明せよ。

【解答】 古代エジプト人のミイラから抽出したつもりが、混入した現代のヒトDNAを抽出しているという問題。(47字)

別解 古代エジプト人のミイラからDNAを抽出する際に、混入した現代のヒトDNAを抽出してしまう問題。(47字)

【基準・配点】

- 以下に言及のない(誤字などの)ミスは、1つにつき原則マイナス1点。
- 字数には幅があってもよいが、文として成立していないもの、明らかな立消え答案(「古代エジプト人」、など)は0点。
- カタカナ・ブランク・英語の抜き出しはマイナス1点。
- 「古代エジプト人のDNA断片が現代のヒトDNAとよく似ている」という内容のみを記したものは最大で5点。
- 25字未満は最大5点(マイナス5点)。25字～35字は最大8点(マイナス2点)。

部分	点数	-0点(許容)	-1点
① 古代エジプト人のミイラから抽出したつもりが、	5	古代エジプト人のミイラからDNAを抽出する際に、/古代エジプト人のDNAの断片だと思っていたものは/古代エジプト人のDNA断片は、	
② 混入した現代のヒトDNAを抽出しているという問題	5	混入した現代のヒトDNAを抽出してしまう/現代人のDNAによって汚染されていた/現代の人間のDNAが多く混じっていた/現代の人類のDNAに汚染されそれとほぼ同一になっていた	

* 「混入」もしくは「汚染」に言及があり、problemの問題点を指摘できているものは、解答例と文言が異なっても正解とする。

* 「古代エジプト人のDNA断片が、汚染のせいで、現代人のDNAと見分けがつかなくなっていたという問題。」といった解答も可。ただし、「汚染のせい」という記述のないものは、【基準・配点】に記した通り、最大で5点。

問4 10点

【設問】 下線部(4)の解析結果を受けて、一部の遺伝学者が示した反応について、55字程度の日本語で説明せよ。

【解答】 ペーボは間違いだとわかっていなければいけなかったのに、研究結果を発表することを急いだのではないかと疑った。(55字)

【別解】 ペーボは研究結果を発表することを急ぐあまり、それが間違いであることを理解し損ねたのではないかと疑った。(51字)

【基準・配点】

- 以下に言及のない(誤字などの)ミスは、1つにつき原則-1点。
- カタカナ・ブランク・英語の抜き出しはマイナス1点。
- 虫食い答案は採点するが、明らかな立消え答案(「ペーボは」など)は部分点0点。
- 30字未満は最大5点(マイナス5点)。30字~42字は最大8点(マイナス2点)。

部分	点数	-0点(許容)	-1点
① ペーボは間違いだとわかっていなければいけなかったのに、	5	それが間違いであることを理解し損ねたのではないか/ペーボ自身が誤りだと知っていたはずの/誤りと知っていてしかるべき/ペーボは間違いだとわかっているべきだった	should have p.p. の意味が表せていないもの(「間違いと知っていたのに報告した」という表現)
② 研究結果を発表することを急いだのではないか	4	ペーボは研究結果を発表することを急ぐあまり、/結果を急いで発表したのではないか/結果をペーボが公表したのは性急だったのではないか/実験結果を急いで公表したのではないか	結果を発行する・出版する・投稿する
③ と疑った。	1	と疑問を表明した/疑問を呈した	

* 「ペーボが知っていたはずの結果が間違っていたかどうか」など、that節内の構造を取り違え、かつwhether節内の構造も取り違えているものは、マイナス5点。

問5 10点

【設問】 下線部(5)の具体的内容を、50字程度の日本語で説明せよ。

【解答】 ヨーロッパ人とアジア人は、アフリカ人と比べて、ネアンデルタール人と共通するDNAをより多く持っていた。(51字)

別解 ヨーロッパ人とアジア人がネアンデルタール人と共有するDNAの数は、アフリカ人の場合よりも多かった。(49字)

【基準・配点】

- カタカナ・ブランク・英語の抜き出しはマイナス1点。
- 虫食い答案は採点するが、明らかな立消え答案(「マウスの餌」, など)は0点。
- 以下に言及のない(誤字などの)ミスは、1つにつき原則マイナス1点。
- 「ヒトによってネアンデルタール人と似ている程度には差があった」という表現にとどまっているものは最大で6点。
- 25字未満は最大5点(マイナス5点)。25字~39字は最大8点(マイナス2点)。

部分	点数	-0点(許容)	-1点~
① ヨーロッパ人とアジア人は,	2	ヨーロッパ人やアジア人のものにより似ていた	「ヨーロッパ人やアジア人の配列が」など, 塩基配列と特定できない書き方になっているもの
② アフリカ人と比べて,	2	アフリカ人の場合よりも	
③ ネアンデルタール人と共通するDNAをより多く持っていた。	6	ネアンデルタール人と共有するDNAの数は, ~多かった/ネアンデルタール人のDNAの配列は/ネアンデルタール人の塩基配列が	分け合っていた

* 「ネアンデルタール人の塩基配列が, アフリカ人よりもヨーロッパ人やアジア人の塩基配列に似ていること」といった, “they were more similar to some humans than to others” を具体的に言い換えた答案も許容する。

問6 15点

【設問】 下線部(6-A)は現生人類の移動に関する「従来の学説」であり、(6-B)は下線部(5)が事実として確定された後、それを修正するものとして提示された「ペーボらの新説」である。(6-A)の「従来の学説」及び、(6-B)の「ペーボらの新説」に基づいて、下線部(5)の事実が生じる理由を100字程度の日本語で説明せよ。

【解答】 すべての現生人類はアフリカに起源を持つが、アフリカに留まった集団とは異なり、そこから移動した一部の集団は移動した先でネアンデルタール人と交雑し、その子孫がヨーロッパやアジアに住み着くようになったから。(100字)

別解 従来の学説のようにすべての現生人類はアフリカに起源をもつが、そこを離れた一部の集団は完全にネアンデルタール人と置き換わったのではなく、ペーボらの新説によれば彼らとの間に交雑があり、その子孫が各地に散らばっていったから。(109字)

【基準・配点】

- カタカナ・ブランク・英語の抜き出しはマイナス1点。
- 字数には幅があってもよいが、文として成立していないもの、明らかな立消え答案(「現生人類は」など)は0点。
- 以下に言及のない(誤字などの)ミスは、1つにつき原則マイナス1点。
- 50字未満は最大8点(マイナス7点)。50字~78字は最大12点(マイナス3点)。

部分	点数	-0点(許容)	-1点
① すべての現生人類はアフリカに起源を持つが、	3	すべての現生人類はアフリカに起源を持ち、/従来の学説のようにすべての現生人類はアフリカに起源をもつが/アフリカに単一の起源を持つヒトが	
② アフリカに留まった集団とは異なり、そこから移動した一部の集団は	3	そこを離れた一部の集団は/アフリカを離れて一部が世界中に広がる過程で	全てのヒトの祖先がアフリカから移動したような書き方になっているもの
③ 移動した先でネアンデルタール人と交雑し、	5	完全にネアンデルタール人と置き換わったのではなく、ペーボらの新説によれば彼らとの間に交雑があり、/旧人類に取って代わったという従来の学説の考え方とは異なり、ヒトはネアンデルタール人と交配しており/ネアンデルタール人を絶滅させる前に交雑があり	全てのヒトの祖先がネアンデルタール人と交雑したような書き方になっているもの
④ その子孫がヨーロッパやアジアに住み着くようになった	3	その子孫が各地へ散らばった/	子孫に言及のないもの
⑤ から	1		文末処理を怠ったもの

* 「移動→交雑→さらなる拡散」という流れが正確に表現できていないものはマイナス3点。

5 自由英作文 (配点 20 点)

【設問】 下記テーマについて、英語で自分の考えを述べよ。書体は活字体でも筆記体でもよい。使用語数は 60 語～80 語とする。なお、実際の語数を解答欄末尾の所定箇所に記入せよ。

The writing will be evaluated from the viewpoint of both quantity and quality. The evaluation will also consider whether what you write responds to the question. You are expected to write one complete essay.

The stressful demands of modern life often leave people feeling disturbed and helpless. To regain focus and a renewed sense of well-being, people are increasingly turning to mindfulness. This includes health professionals. Simply put, mindfulness is a way of focusing on the present rather than dwelling on past problems or worrying about the future. What do you think about the importance of mindfulness for health professionals? Write your opinion and explain in detail why you think that way.

【解答①】 Mindfulness is a term we hear a lot about these days. I will look at mindfulness from the perspective of its importance to health professionals.

Health professionals with mindfulness will not only focus on the task at hand, but will also have empathy for their patients. That's because mindfulness enables them to be more attentive to what their patients are feeling.

So, it is not too much to say that mindfulness is the vital foundation of health professionals. (78 words)

(マインドフルネスは、最近よく耳にする用語だ。私は、マインドフルネスを医療従事者にとっての意義という観点から検証してみようと思う。

マインドフルネスを備えた医療従事者は、目の前の仕事に集中できるだけでなく、患者への共感力ももつことができる。なぜなら、マインドフルネスを身につければ、医療従事者は患者が感じていることにもっと注意深く対応することができるからだ。

だから、マインドフルネスはすべての医療従事者にとって不可欠な基盤であるといっても過言ではない。)

【解答②】 Feeling overwhelmed by your busy days at work can have disastrous consequences down the line — a risk that can affect health professionals, among others.

That's because such mental states lead to a lack of concentration on the tasks at hand, which naturally increases medical errors.

That's why mindfulness is important for health professionals. It enables them to stay focused on the task at hand ; in other words, they can treat patients more attentively, improving the quality of care they deliver. (80 words)

(仕事で忙しい毎日に為す術もなく感じると、将来的に悲惨な結末を迎える可能性がある。そしてそれはとりわけ医療従事者に影響しうるリスクである。

それは、このような精神状態が、目の前の仕事への集中力の欠如をもたらし、当然ながら医療過誤も増加させるからだ。

だからこそ、医療従事者にとってマインドフルネスが重要なのだ。マインドフルネスのおかげで、彼らは目の前の仕事に集中することができる。言い換えれば、彼らは患者をより注

意深く治療することができ、提供する治療の質を向上させることができるのだ。)

【解答③】 The primary goal of health professionals is to provide humanistic, holistic care to their patients. However, heavy responsibility for patients' lives can often leave them feeling emotionally exhausted, which in turn can lead to burnout. That's why mindfulness is important for them. By developing mindfulness, they will be able to focus on their patients, find meaning in their work by contributing to patient satisfaction, and enjoy a sense of accomplishment in their primary goal. (74 words)

(医療従事者の第一の目標は、患者に対して人間的で全人的なケアを提供することだ。しかし、患者の命に対する重い責任から、彼らは精神的な消耗を感じる事が多く、それが今度は燃え尽き症候群を引き起こす可能性もある。だからこそ、彼らにとってマインドフルネスが重要なのだ。マインドフルネスを身につけることで、彼らは患者に集中し、患者の満足に貢献することで自らの仕事に意味を見出し、自身の最大の目標を達成したという感覚を享受することができるのだ。)

【解答④】 In my opinion, no one needs to develop mindfulness more than health professionals. Indeed, everyone feels stressed from time to time in our hectic working environment. However, when health professionals, among others, feel burnt out, it is their patients who are at the greatest disadvantage, and this means that their very lives may be at risk. Therefore, if they aim to provide humanistic care to patients, it cannot be overstated that they should take steps to develop mindfulness. (78 words)

(私の考えでは、医療従事者ほどマインドフルネスを身につける必要のある人はいない。確かに、多忙な労働環境の中で、誰もが時としてストレスを感じる事があがる。しかし、中でも医療従事者が精神的な消耗を理由に燃え尽きたとき、最も不利益を被るのは患者であり、それは患者の命そのものが危険にさらされることを意味する。それゆえ、彼らが患者に人間的な治療を提供することを目指すのであれば、マインドフルネスを身につけるために対策を講じるべきであることは、いくら言っても言い過ぎではない。)

【解答⑤】 In my opinion, mindfulness is one of the necessary qualities of competent health professionals. As a doctor, for example, you will inevitably be confronted with the deaths of patients you have long cared for. You may well be lost in grief, but many other patients will also be in need if you are too regretful to perform your duties. It is how you face the cases right in front of you that counts most, and thus mindfulness is important. (79 words)

(私の考えでは、マインドフルネスは有能な医療従事者に必要な資質の1つである。たとえば医師として、あなたが長いこと世話をしてきた患者の死に直面することは避けられないだろう。あなたは悲しみに暮れるかもしれないが、あなたが後悔の念に駆られるあまり職務を果たせなければ、他の多くの患者も困ってしまう。目の前の患者にどう向き合うかが最も重要なのであり、だからこそマインドフルネスが重要なのだ。)

【解答⑥】 Mindfulness is immensely important for health professionals. The demanding nature of their work can lead to burnout. Mindfulness equips them with essential tools to manage stress, maintain empathy, and make sound decisions. By staying present, they can provide better care to patients and enhance

their own well-being, ultimately benefiting both patients and themselves. In short, mindfulness is a vital practice that empowers health professionals to thrive in their challenging roles. (70 words)

(マインドフルネスは医療従事者にとって非常に重要である。彼らの仕事の厳しい性質は、燃え尽き症候群を引き起こす可能性がある。マインドフルネスは、ストレスを管理し、共感力を維持し、適切な判断を下すために不可欠な道具を彼らに与えてくれる。現在にとどまることで、彼らは患者により良い治療を提供し、自分自身の幸福を高めることができ、最終的には患者と自分自身の両方に利益をもたらす。つまり、マインドフルネスは、医療従事者が困難な役割の中で成功する力を与えてくれる重要な実践法なのである。)

【基準・配点】

<自由英作文問題の採点の手順>

1. 語数・英語の正しさの減点をしたあと、
2. 内容面を満たしているかを確認してください。

1. 語数・英語の正しさ

i. 語数

*明らかに過不足がありそうなもののみ語数カウントして確認し、以下の基準で減点して下さい。

- | | | |
|--|---|--------------------|
| <input type="checkbox"/> 15 語未満/131 語以上 | ⇒ | マイナス 15 点(最大 5 点) |
| <input type="checkbox"/> 15 語~29 語/111 語~130 語 | ⇒ | マイナス 10 点(最大 10 点) |
| <input type="checkbox"/> 30 語~44 語/91 語~110 語 | ⇒ | マイナス 5 点(最大 15 点) |
| <input type="checkbox"/> 45 語~59 語/81 語~90 語 | ⇒ | マイナス 1 点(最大 19 点) |

*語数の過不足で減点した場合、「語数不足」或いは「語数超過」と付記して下さい。

ii. 形式

*段落頭のインデントの有無は不問。

iii. 英語の正しさ

- 1) 句点やピリオドの欠落, ij のドットや t の棒の脱落は減点しない。
- 2) 英語として多少不自然でも、意図が伝わるように表現できていれば広く認め、単語のニュアンスが多少ずれているものも減点しない (下線で指摘のみ)。基本単語の明らかな誤りや、基本的な文法面を中心に減点する。
- 3) 例えば 60 語は満たしていて、4 文で構成されている場合、そのうちの 1 文が英文として成立していない、といった答案例であれば、各文の配点を 20 点×1/4=5 点と換算し、その分を差し引くものとする。

4) その他

- ・短縮形の使用はすべて認める。
- ・大文字・小文字は不問（誤りでも指摘だけで減点しない）。
- ・スペルミスはマイナス1点。三人称単数現在のミスもマイナス1点。
- ・冠詞および名詞の単複と **U** **C** の誤りは該当部分に下線を付し，減点しない。
- ・動詞の語形の誤り，語句の誤りなどすべて1箇所につきマイナス1点。
- ・同一の誤りが複数回ある場合，減点は原則初出の1回のみ減点。
(減点箇所に波線，抜け箇所に[∨]△をつけ，減点数を付記する)
- ・欠如語句の箇所には，語と語の間に[∨]を入れて指摘。
- ・語数の記入漏れはマイナス1点。

2. 内容面

1. 全く無関係な事柄について書いているものは0点(マイナス20点)。ただし，表現力が足りていないために，関係のないことを論じているように見える答案に関して部分点を与える。例えば，マインドフルネスの重要性を論じようとして，精神と身体の関係論を論じ始めて，最終的にマインドフルネスとは関係のない議論に終始してしまった場合などは，結論が欠けていると見なして，部分点(最大で15点)を与える。
2. 『主張(5点)→理由(10点)→結論(5点)』という基本的な流れで構成されているかどうかを確認。ただし，主張と理由の関係が明確であれば，結論(reword)は必須ではない。その場合結論が無くても減点はしない。
3. 結論を導くのに妥当な理由が一切述べられていない場合はマイナス10点。
(ただし，厳密にこの方針を採用する必要はなく，ある程度採点者の裁量で減点する)
4. 「ストレスは悪だ。だからマインドフルネスは重要だ」といったように，根拠に欠ける理由や，特に医療従事者と関係のない理由のみで結論を導いたものは，マイナス5点。
(ただし，厳密にこの方針を採用する必要はなく，ある程度採点者の裁量で減点する)

採点の参考基準

内容上のポイント

- ・「医師によってストレスの感じ方は違うので，この問題を論じることに意味がない」など明らかにふざけたものはマイナス20点。
- ・「自分の経験」を基に述べたものも許容するが，それが結局「医療従事者にとってのマインドフルネスの意義」とつながらない場合は減点する(マイナス5点)。
- ・「難しい問題であり正解はない」など玉虫色の解答をして，理由もなく自らの意見を述べることを避けているものはマイナス15点。理由を示しているものはマイナス5点。

以上